

flat panel detector を使ったポータブル X 線装置がベッドサイドでの経鼻腸管留置に有効かどうかの検討。

(論文名： **Examination of the usefulness of bedside nasojejunal tube placement using portable imaging device with flat panel detector.** )

## 1. 研究の目的

経鼻腸管 (EDtube) は胃食道逆流や胃排泄遅延がある患児に対して透視室で留置することが一般的です。しかし、PICU に入室している重症患児は点滴や挿管されている割合が高く、透視室まで移動が多くの場合困難です。当院では 2016 年 4 月より重症患児に対してポータブル X 線装置を利用してベッドサイドで経鼻腸管留置を行っています。今回、同時期に透視室で経鼻腸管を留置を行った症例と比較し、ポータブル X 線装置を使った経鼻腸管留置の有効性を検討します。

## 2. 研究の方法

対象：2016 年 4 月から 2018 年 12 月の間に群馬県立小児医療センターで、経鼻腸管留置をポータブル X 線装置を使用した症例と透視下で行った症例を比較検討しました。

方法：過去の診療記録、検査所見等をもとに調査を行います。

## 3. 情報の公表

研究結果は Pediatric Radiology という学術雑誌に投稿し、論文として公開される予定です。患者様の個人情報公表されることはありません。

## 4. 研究実施機関およびお問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

群馬県立小児医療センター 小児外科 高本 尚弘

住所：〒377-8577 群馬県渋川市北橘町下箱田 779 番地

電話：0279-52-3551